

授業科目(ナンバリング)	介護概論 I A (介) (DA111)			担当教員	浦 秀美		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択 (介護必修)
授 業 の ね ら い							アクティブ・ ラーニング の 類 型
<p>本科目は、介護福祉士として、介護について理解する第一歩である。そして、<u>介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。</u>今日の介護を取り巻く状況から、「尊厳の保持」や「自立支援」という介護の考え方に基づいて、介護のあり方、介護の専門職としての基本的姿勢をディスカッションも取り入れ学んでいく。</p> <p>本講義は、我が国の介護を取り巻く状況と、その中での介護福祉士、介護の誕生やあり方を理解し、介護の「尊厳の保持」や「自立支援」という考え方について理解することを目標とする。また、学修者個人やグループでの課題解決やディベートも取り入れながら、<u>介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解する。</u>そして、本学のディプロマポリシーでも示されている(介護福祉士としての)専門知識・技術を修得し、課題解決を図ることができるようになることもねらいとしたい。</p>							④⑤⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士の役割について説明できる。 今日の社会状況と介護を関連付けた説明ができる。 				<ul style="list-style-type: none"> 随時試験 知識確認試験 	50% 10%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の介護を取り巻く状況について指摘できる。 介護のあり方を類別できる。 				<ul style="list-style-type: none"> 知識確認試験 課題レポート 	5% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援のための検討について、相手(利用者)と協調できる。 				<ul style="list-style-type: none"> 課題レポート 	10%	
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> 介護にとっての尊厳の保持の必要性を理解することができる。 介護にとっての自立支援の必要性を理解することができる。 				<ul style="list-style-type: none"> 随時試験 知識確認試験 	10% 5%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> 随時試験(60%)：筆記試験(持ち込み不可)を行う。 知識確認試験(20%)：テスト後に模範解答集を配付(もしくはポートフォリオ掲載)し自己採点、復習を行ってもらう。 課題レポート(20%)：respon を用いる場合と別途実施する。実施後はポートフォリオや授業中にフィードバックする。別途課題は、授業内でテーマや体裁、文字数などを指示する。文字数不足および誤字・脱字、体裁がことなる場合などは減点の対象とする。 							
授 業 の 概 要							
<p>我が国の介護を取り巻く状況、介護福祉士の社会的役割、介護福祉士が守るべき倫理や専門性について学ぶ。介護の役割や意義として尊厳を支える介護や自立に向けた介護についても学ぶ(ディスカッションも行う)。その中で、これから介護を学ぶために必要な語句の持つ意味や内容についても学んでいく。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：①介護福祉士養成講座編集委員会(2019)最新介護福祉士養成講座3『介護の基本Ⅰ』中央法規出版株式会社 ②介護福祉士養成講座編集委員会(2019)最新介護福祉士養成講座4『介護の基本Ⅱ』中央法規出版株式会社 ③介護福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会(2018)『介護福祉士国家試験受験ワークブック2019上』中央法規出版株式会社</p> <p>参考書：『国民の福祉と介護の動向』厚生統計協会(近年の統計動向の確認時、本書を活用する)</p> <p>指定図書：上記①、②</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							

利用者の自立支援を考えて介護者の姿勢を学んでいく科目です。したがって、まずは相手の立場に立って物事を考える努力をしてください。また、介護を取り巻く状況は専門誌に限らず新聞などでも語られています。今、世の中で何が起きているのかを知るためにも、新聞等をはじめとしたメディアから情報を入手してください。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	<u>介護福祉の基本となる理念</u> 介護福祉士を取り巻く状況①	介護の歴史を学び、介護とは何か、人間が本来持っている機能としての介護を考えていく。	予：テキスト冒頭「まえがき」確認 復：配付資料再読
2	介護福祉士を取り巻く状況①	介護を取り巻く少子高齢化など社会状況の変化や家族形態や家族の機能の変化について学び、介護福祉士が生まれてきた背景を理解する。	予：少子高齢化現状調べ 復：配付資料再読
3	介護福祉士を取り巻く状況②	時代を反映して介護ニーズも変化する。老老介護や高齢者虐待等の介護問題の背景を考える。また、団塊の世代の高齢化に伴う今後の介護課題を考える。	予：老老介護の現状調べ 復：配付資料再読
4	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ①	社会福祉士及び介護福祉士法から、介護福祉士の定義や義務等、介護福祉士の役割と機能を学び、専門職の役割を考える。	予：介護福祉士定義調べ 復：介護福祉士定義整理
5	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ②	社会福祉士及び介護福祉士法の改正について理解し、求められる介護福祉士像を学ぶ。地域社会との関わり、多職種との連携を理解する。	予：求められる介護福祉士像(テキスト)確認 復：配付資料再読
6	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ③ <u>介護福祉士の倫理</u>	介護福祉士の専門職団体としての役割、機能、特性、並びに日本介護福祉士会倫理綱領について学び、介護福祉士の専門職としての姿勢、倫理を理解する。	予：日本介護福祉士会倫理綱領(テキスト)確認 復：介護福祉士の倫理を整理する。
7	介護の意義と役割①	今、求められている介護の概要、介護の原理・原則を学ぶ。ノーマライゼーションや人権・自己決定の尊重、生活者としての自立を支えることを理解する。	予：ノーマライゼーション意味調べ 復：自立支援、介護の原則の整理
8	介護の意義と役割②	自己決定・自己選択は主体的生活にとって不可欠なことを理解し、自立・自律の考え方や自立生活を考える。	予：自立生活を考える 復：自立と自律の整理
9	介護の意義と役割③ <u>介護を必要とする人の生活を支えるしくみ①</u>	生活意欲への働きかけとエンパワメントを学ぶ。地域社会の中で、その人らしい生活を実現すること、自立支援を考える。	予：エンパワメント意味調べ 復：主体的生活の整理
10	自立に向けた介護①	介護を必要とする人の日常生活動作を学び、残存能力、潜在能力を活かした自立支援の考え方を理解する。自立支援の具体的展開を学ぶ。	予：日常生活動作が示す行動調べ 復：ADLの整理
11	自立に向けた介護②	ICFの考え方を学ぶ(ICFの視点に基づく利用者のアセスメント、ICFの介護への活用を考える)。	予：ICF概念図に目を通す 復：ICFモデル整理
12	自立に向けた介護③	介護予防(筋力向上や転倒予防だけでなくことや要介護へとつながる廃用症候群や生活不活発病を)学ぶ。	予：介護保険制度概要 復：介護予防・廃用症候群整理
13	自立に向けた介護④ <u>介護を必要とする人の生活を支えるしくみ②</u>	介護保険制度を学ぶ(自立に向けた生活を考えるための介護予防も含む)。サービス種類や制度利用も学ぶ。	予：身近にある介護サービス調べ 復：配付資料再読
14	自立に向けた介護⑤ <u>介護を必要とする人の生活を支えるしくみ③</u> <u>協働する多職種の役割と機能</u>	人的支援の他、福祉用具活用や住居改造、福祉のまちづくり等、物理的支援が不可欠なことを理解する。リハビリテーションの考え方、急性期・回復期・維持期におけるリハビリテーションのあり方を学ぶ。リハビリテーションの実際について、事例から学ぶ。介護概論IA全般を振り返る。	予：住環境。リハビリテーション調べ 復：バリアフリー・福祉用具・リハビリテーション整理
15	随時試験		